

# 令和7年度 介護保険事業所等 運営指導結果報告書

鹿角市健康福祉部 福祉総務課

令和8年3月

## ○目的

利用者の自立支援及び尊厳の保持を図ることを念頭において、介護サービス事業者等の支援を行うものとし、サービス利用者の保護と、介護給付対象サービスの取り扱い及び保険給付請求等の適正化を図ることを目的に運営指導を実施する。

## ○実施期間

時期：令和7年6月～令和7年10月

## ○実施方針

重点項目や事業所選定基準等について方針を定めて、運営指導を実施。

### (1) 運営関係

- ① 人員基準の徹底
- ② 一連のケアマネジメントプロセスの理解の促進
- ③ 計画に基づくサービスの実施
- ④ 「事故防止対策」及び「苦情対応」
- ⑤ 感染予防対策

### (2) 報酬関係

- ① 不適正な請求の防止
- ② 説明責任の理解の促進
- ③ 記録等の整備
- ④ 介護職員処遇改善加算の介護従事者への支給の確認

## ○実施状況（サービス毎）

サービス種類別_内訳	事業所数 (A) R7.4.1現在	実施 事業者数 (B)	実施比率 (B/A)
介護予防支援	4	0	—
居宅介護支援	8	1	12.5%
小規模多機能型居宅介護	2	0	—
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	0	—
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	2	66.7—
地域密着型通所介護	3	0	—
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	—
認知症対応型共同生活介護	7	4	57.1%
介護予防認知症対応型共同生活介護	6	3	50.0%
認知症対応型通所介護	3	1	33.3%
介護予防認知症対応型通所介護	3	1	33.3%
合 計	42	12	28.6%

## ○指導結果（サービス毎）

サービス種類別_内訳	事業所数 (A)	実施 事業者数 (B)	指導結果	
			文書	助言
介護予防支援	4	0	0	0
居宅介護支援	8	1	0	3
小規模多機能型居宅介護	2	0	0	0
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	0		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	2	0	1
地域密着型通所介護	3	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	7	4	1	44
介護予防認知症対応型共同生活介護	6	3		
認知症対応型通所介護	3	1	0	10
介護予防認知症対応型通所介護	3	1		
合 計	42	12	1	58

## ○主な指摘事項【抜粋】

### ①人員・運営について

・感染症対策のため、中庭でつながる廊下を物品で塞ぎ通れなくなっていた。建物の構造概要や平面図と実際が異なっているため、建物設備の管理を適正に行い変更届を提出すること。（介護保険法第78条の5第1項）

## ○その他助言事項【抜粋】

### ①人員・運営について

- ・ 職員研修の報告書を手書きで作成していた。手書きの方がいい職員がいるようだが、研修記録については、記録入力用のフォームを作成して、活用することで記録者毎の偏りなどが少なくなるほか、事務の効率化が図られるのではないか。事業所として研修記録を電子データとして保存・共有する方法など検討が必要である。
- ・ 事業所保管の書類に裏紙を使用しているが、一部全く関係のない方の個人情報に記載されている書類があった。資源の再利用を奨めていると思うが、個人情報の取り扱いと、適切な文書管理をすること。
- ・ 各種マニュアルの作成日や更新日等を記載されていないものが多数あった。また、マニュアルに記載の連絡先（福祉事務所の電話番号）に誤りがあるほか、事業所担当者も現在いない職員名が記載されているため、毎年確認し、事業所の状況に合わせて、適宜見直しを行いながら、誰が見ても分かるように実効性のあるマニュアルとしてほしい。
- ・ 手すり付近に物品が多く、手すりにタオルを干しており手すりとしての機能が果たせていない。手すりには歩行の障害にならないような工夫が必要である。
- ・ 避難口から道路へ通じる道に草が生い茂っていた。利用者が速やかに避難できるように環境整備をすること。
- ・ キヤスター付き物干しが通路に並んでいたが、利用者が手摺代わりに掴まって転倒する恐れはないか。

## ○その他助言事項【抜粋】

### ②サービス計画・サービス提供関係

- ・ 計画書の同意日、契約書の契約日、重要事項説明書の説明日、個人情報保護に関する同意日が未記入のものがあるため確認が必要である。
- ・ モニタリング表の作成者が空欄のほか、施設側の確認印が押されているものと、押されていないものとがあったため確認が必要である。
- ・ 利用契約書が利用者ファイルに保管されていないものがあったため、ファイルに保管すること。

### ③報酬請求関係

- ・ （協力医療機関連携加算について）協力医療機関があるものの、加算算定について未検討。
- ・ （算定要件に達しているが、算定しない理由について）過去に算定誤りで過去何年か分を過誤したことがあり、算定要件のチェックが大変で算定しないことにしたとのこと。  
→ 全体的に手書き文書が多く、事務手続きの効率化を図る必要がある。他の事業所の取り組みなどを参考に、加算を誤りなく取る体制の検討すること。
- ・ 通院時情報連携加算について、算定に向けて取り組みを検討されたい。
- ・ 加算については複数の目やツールで確認できると良い。

## ○好事例【抜粋】

- ・災害時に避難の有無を職員間で情報共有できるよう、居室の案内板に洗濯ばさみを活用した目印を付けるなど工夫しており、他施設に紹介できる優良な取組であると評価できる。
- ・請求事務の一連を2人以上で突合し、確認できるような体制を作っているほか、介護請求の業者とリモートで連携し加算内容などシステムの分からない部分などを助言を受けながら請求事務をする体制を構築されていて良い。
- ・独自の取り組みとして、動物による癒しの提供や、建物の構造を最大限に生かし、安全対策（段差解消等）を講じた上で入所者が中庭で活動できるようにしており、優良事例として評価できる。
- ・カスタマーハラスメントに対する指針を定める等、職員の安心・安全を確保する取組がなされていてよい。
- ・各居室に避難経路図を貼っており良かった。自分が今どの場所にいるか、現在地を朱書きするなどさらに工夫をすると良い。
- ・出入口や非常口など、利用者が勝手に外に出られそうな箇所にセンサーが付いており、人が近付くと音が鳴る仕組みを導入していた。どの箇所のセンサーが反応しているかまでモニターで確認することができるのでよい。

## ○好事例【抜粋】

- ・ 2階建て施設のため避難の際は難儀しそうだが、様々な道具や手段により避難の方法を検討されている様子がうかがえる。継続して最善の避難方法を検討・更新していただけたらと思う。
- ・ 避難訓練では積極的に自治会や地元消防団と連携しており、安全に対する意識が高いと感じる。